

ニットソーイングの基礎

1. Tシャツの縫い方 -1/4

家庭用ミシンを使ってTシャツを縫う基本的な方法をここに記載します。

使用するのはニット用のミシン針とニット生地用のミシン糸です。

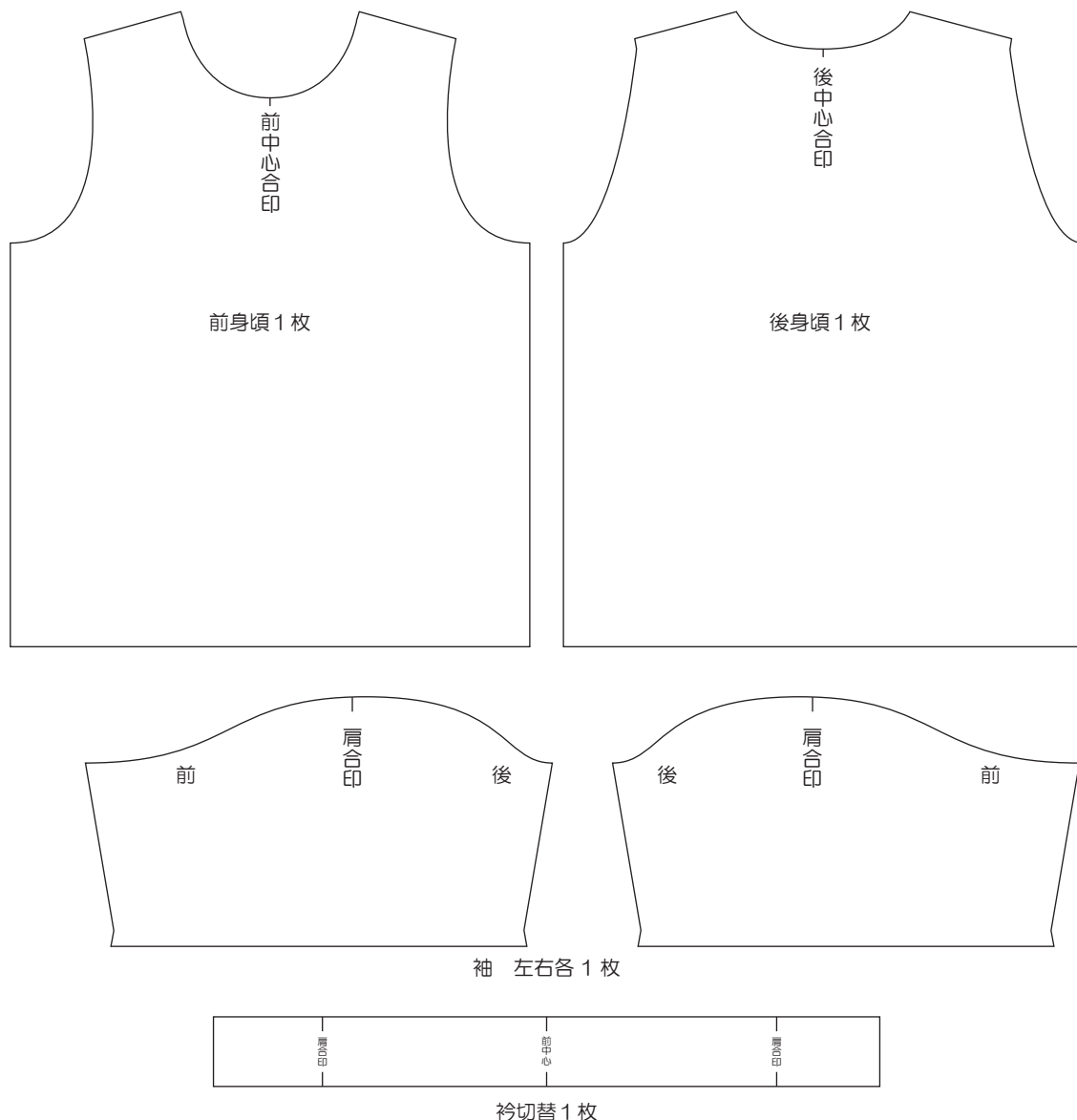
お使いのミシンに「上送り押さえ」があればぜひ装着して下さい。

押さえの圧を変更できるミシンをお使いの場合は、一番低い圧力に設定して下さい。
どちらも無い場合は、押さえの下に生地を押し込むように縫うのを基本として下さい。

どんな場合でも引っ張りながら縫う事はさけて下さい。

やむを得ず縫い伸びしてしまった場合はスチームアイロンをあてると少し戻りますが
引っ張りすぎた場合は決して戻らなくなってしまう危険性がありますのでご注意ください。

1. 生地を裁断します。



衿切替生地は Wildberry では共地を使用する前提で設定しています。
中程度の伸縮率の天竺で襟ぐりの実寸の85%の長さにしてあります。
生地の伸縮率が低い場合は90%ぐらいに調節し直してお使いください。
フリス生地を使用する場合は75%~80%ぐらいに調整し直して下さい。

ニットソーイングの基礎


1. Tシャツの縫い方 -2/4

2. 前身頃と後身頃を中表に重ね合わせ、肩と脇を縫い合わせます。



家庭用ミシン使用の場合は
縫い合わせたら生地端を2枚一緒にジグザグミシンで始末します。
縫い代は後身頃側に倒します。

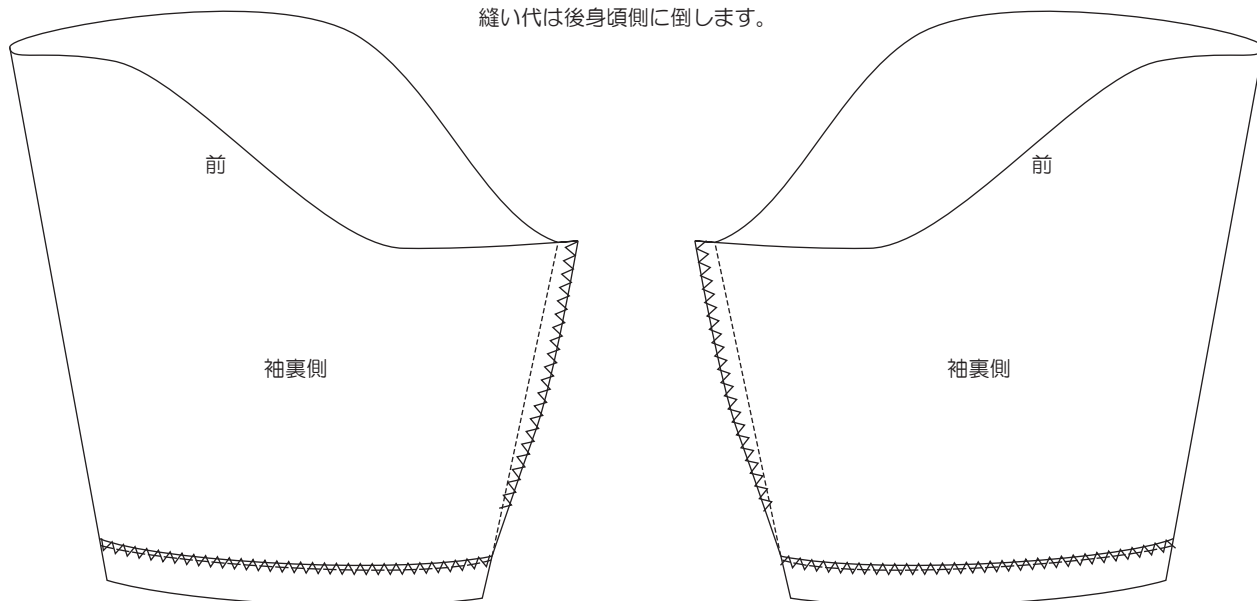

ジグザグミシン+直線ミシン


三点ジグザグミシン

脇を縫い合わせ終わったら先に裾を折り返して置くのとあとで楽です。
家庭用ミシン使用の場合はジグザグミシン+直線ミシンでも良いし
三点ジグザグミシンでダイレクトに縫っても良いです。
着脱ぎの際に糸切れしにくいのは三点ジグザグです。

3. 袖を中表に筒状にして縫い代を縫います。

縫い合わせたら生地端を2枚一緒にジグザグミシンで始末します。
縫い代は後身頃側に倒します。

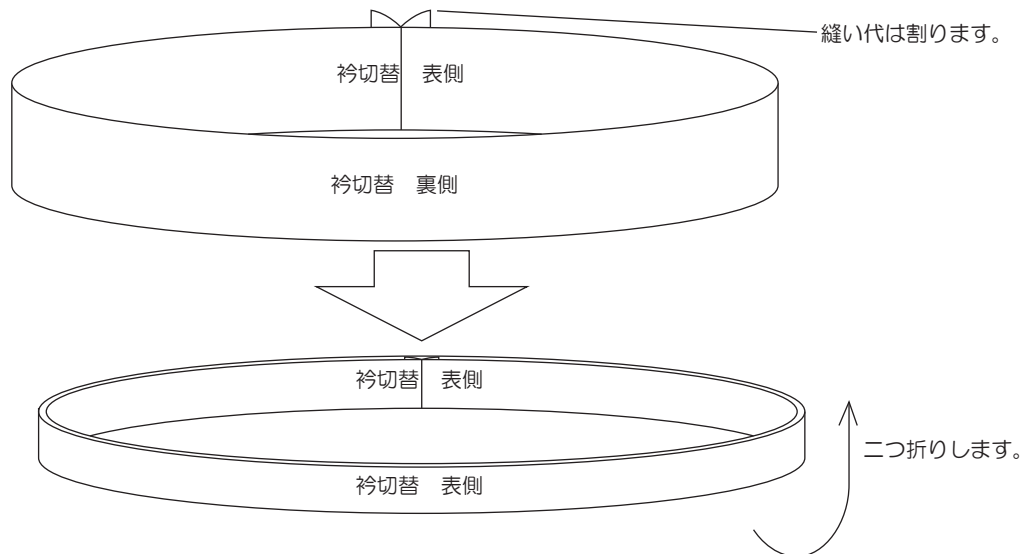


袖口もこの段階で折り返して置きます。
裾同様、ジグザグ+直線ミシン、もしくは三点ジグザグでステッチします。

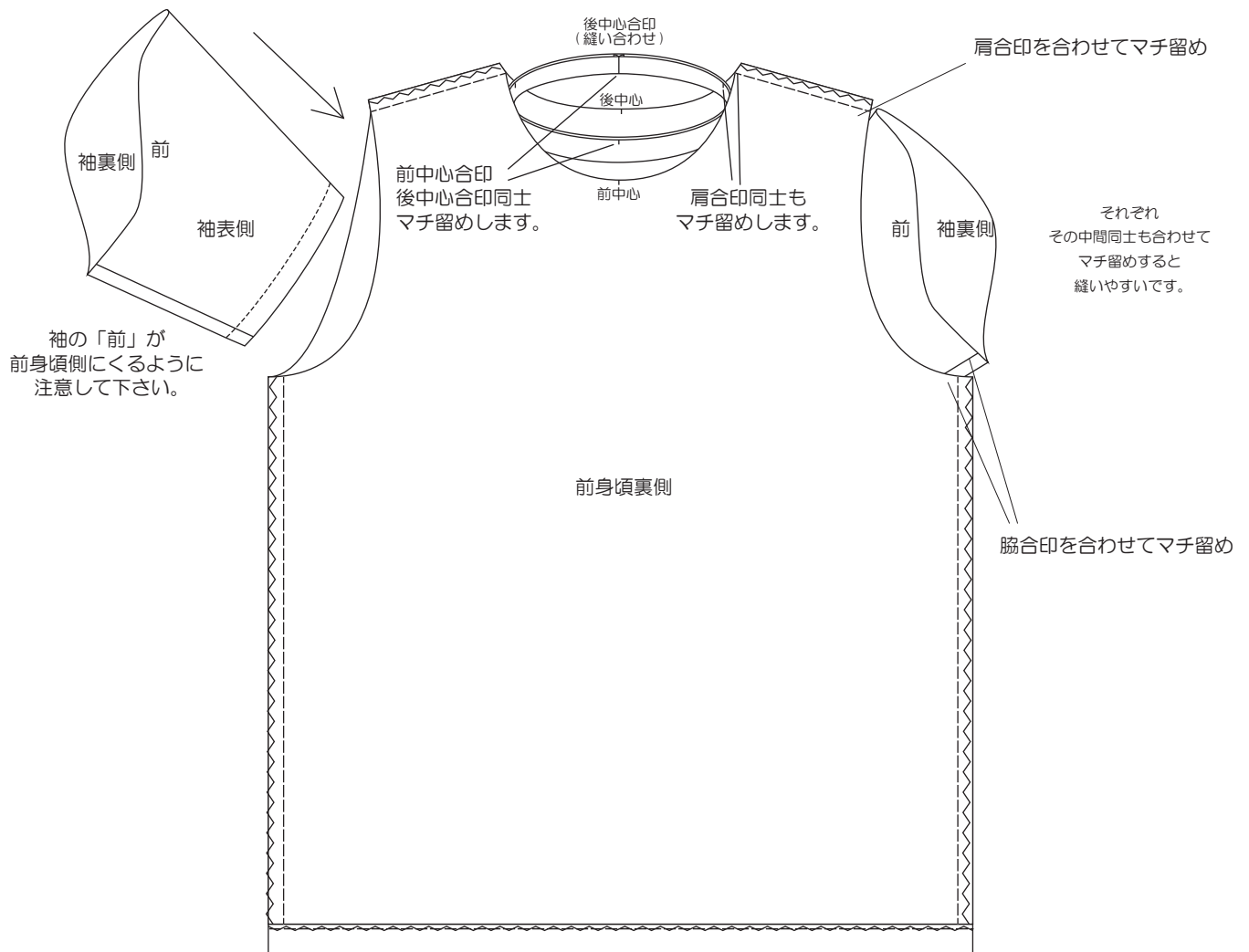
ニットソーイングの基礎

1. Tシャツの縫い方 -3/4

4. 衿切替を中表に輪にして縫い合わせ、外表に二つ折りにします。



5. 袖を表に返し、身頃に差し込み縫い合わせます。衿切替も同様に縫い合わせます。



ニットソーイングの基礎

1. Tシャツの縫い方 -4/4

6. 袖、衿切替を縫い合わせ、生地端の始末をします。



7. 表に返して、衿切替を表からコバステッチします。

